

大阪府 少年サポートセンターだより



育成支援室 <第 18 号> 平成29年 12 月

バックナンバーはこちら
<http://www.pref.osaka.lg.jp/koseishonen/syounensupportcenter/>

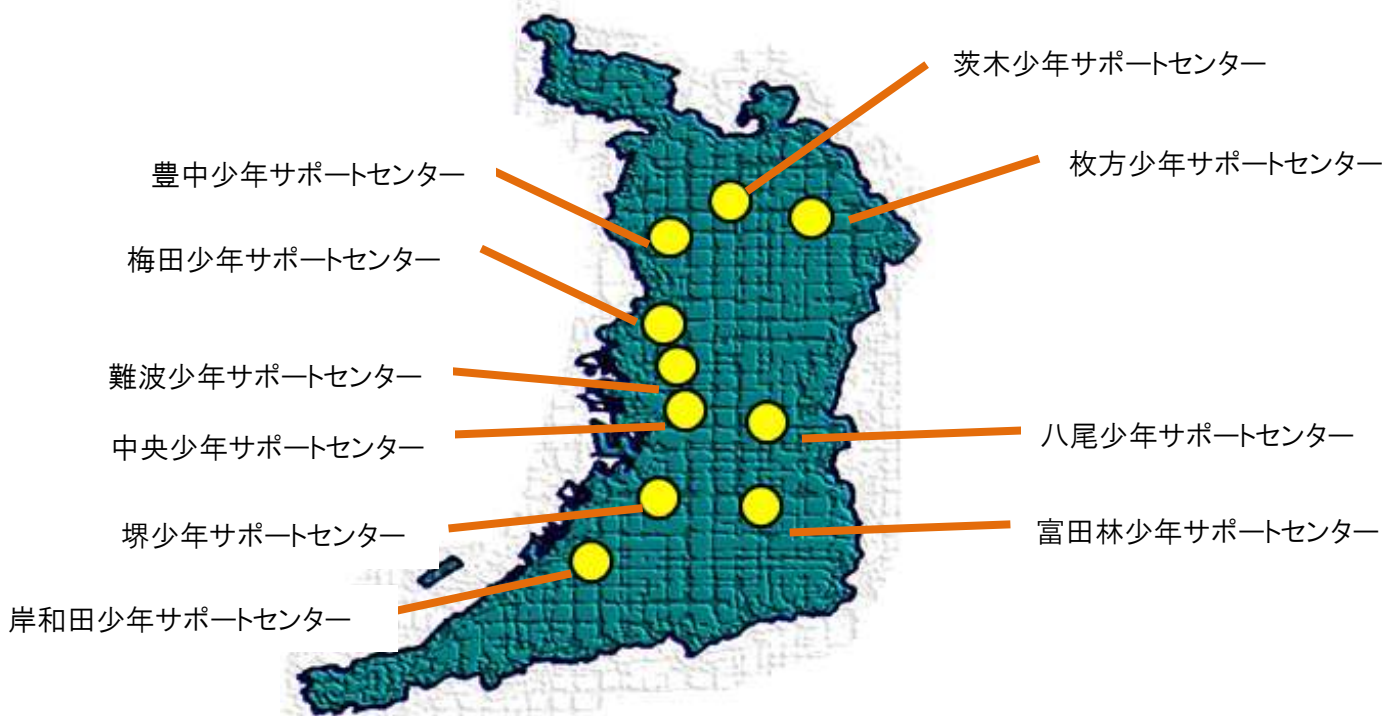
大阪府少年サポートセンター（育成支援室）について

大阪府少年サポートセンターは、府内に10か所あり、大阪府警察の「少年育成室」と大阪府の「育成支援室」、そして大阪府教育庁の三者による連携のもと、非行の未然防止や立ち直り支援などを行っています。

「育成支援室」では、専門職員（ケースワーカー）や青少年健全育成推進員（元警察官・元教員等）が、主に「少年育成室」で面接等による指導・助言をしている少年のうち、少年の特性や家庭環境を踏まえた福祉的観点からの支援が必要であり体験活動を通じての立ち直り支援が有効と判断された少年を支援しています。

支援の充実を図るために、少年と年齢が近くより身近な存在である支援サポーター（大学生ボランティア）と一緒に活動しています。

大阪府少年サポートセンターの位置



中央少年サポートセンター育成支援室	06-6772-6662	豊中少年サポートセンター育成支援室	06-6863-0099
梅田少年サポートセンター育成支援室	06-6311-0660	枚方少年サポートセンター育成支援室	072-843-1999
難波少年サポートセンター育成支援室	06-6211-0141	富田林少年サポートセンター育成支援室	0721-24-5510
八尾少年サポートセンター育成支援室	072-992-3301	岸和田少年サポートセンター育成支援室	072-438-7735
堺少年サポートセンター育成支援室	072-274-2152	茨木少年サポートセンター育成支援室	072-621-4114

支援サポーターってどんなボランティア？

育成支援室では、小中学生を中心とした子どもたちの非行の立ち直りを支援するため、居場所づくりやさまざまな体験活動を行っています。できるだけ家庭的な関わりのなかで実施することを目指しているため、少年たちと年齢が近い大学生等のボランティアに支援サポーターとして活動に参加していただき、自分に寄り添ってくれる存在として少年たちのお姉さん・お兄さんの役割を担ってもらっています。

実際に活動しているサポーターにインタビュー!!!



支援サポーターになろうと思ったきっかけは何ですか？

将来、教師になりたいから、幅広い年齢の子どもたちと関わりたかった！



私は、ソーシャルワーカー！中学生という難しい時期の子どもたちと活動することがいい経験になると思ったし、現場で実際のケースワーカーさんの仕事を見たかったから。



家庭環境のことで何か少年たちに寄り添える部分があるのでは？と思ったから。



やってみて良かったこと、嬉しかったこと、やりがいなどについて教えてください。

最初は打ち解けず、目も合わせることもなかったけれど、子どもがだんだん心を開いてくれて自分の話をしてくれたりするのがとても嬉しい。



少年に関わり始めた頃からどんどん少年の行動が変化していくところ。



活動し始めた頃と今の気持ちの変化について教えてください。

「非行少年」と聞いて、周りにいた友達を思い浮かべて「非行少年＝悪い子たち」と決めつけていたけど、子どもだけの課題ではなく、環境や大人の関わり方の問題なんだろうと思うようになった。



始めた頃は常に緊張して関わっていたけど同じ少年を担当するようになったら今日はどんな話をしようかなと会うのが楽しみになった。



少年も年上のサポーターに緊張していると思うので、サポーター側が笑顔で接したら良いと思うようになった。



支援サポーターとして考える自分の役割は何だと思えますか？

警察官やケースワーカーのような指導してくれる大人とはちがう、学生という立ち位置だからこそ話してあげられること、共感してあげられることがあると思う。



少年の話相手になること。心を開いていろんな話をしてくれるような役割になることで少年たちへの支援の方法が広がればいいと思っている。



大人よりも話しやすい、相談に乗ってもらいやすい、かっこつけなくていいと思ってもらえる存在として寄り添うこと。



これから活動を始めの人にメッセージをお願いします。



まずは自分自身が少年たちとの活動を楽しんでください。そうすることで少年たちとの関係も自然とできてくると思います。また、たまには少し離れたところから見守ることも少年たちにとって大切なと思います。



学習ボランティアしているっていうよりは少年と楽しい時間を過ごしながら勉強させてもらっています！



ケースワーカーの方も優しくとても活動しやすいです。



みなさん、ありがとうございました。活動していて分からないこと、不安なことは何でもケースワーカーに相談してくださいね。



活動の様子



プランター菜園で採れた野菜を使って調理

公園の花壇に
花を植える社会
貢献活動



お父さんの誕生日プレゼント
に写真立てづくり（木工）



地域の卓球連盟の先生による卓球教室



みんなで色塗りに挑戦！

少年の学力に合わせた学習支援！



●どんな活動？

ケースワーカーが少年の特性や興味・関心ごとについて聞き取りを行い、その少年に合わせた活動（調理、スポーツ、ものづくり、学習、楽器演奏など）を少年と一緒に取り組んでいただきます。

●時間帯は？

平日 16:00～18:00 の放課後の時間帯ですが、急学で学校に行けていない少年は午前中の活動となる場合もあります。また、土・日等休日にハイキング等の外出行事や、落書き消しなどの社会貢献活動等もあります。

●活動場所は？

府内 10 か所の少年サポートセンター内で実施しますが、活動内容によっては、野外での活動となる場合もあります。

●活動費用は？

活動場所までの交通費を支給します。調理やものづくり等活動にかかわる費用（材料費等）の負担はありません。

●その他

18歳から25歳までの大学生の方を募集していますが、年齢は関係なく、スポーツや楽器演奏などの技能をお持ちの**技能サポーター**にも活動していただいています。現在、テニス、卓球、木工等の技術指導をしてくれる社会人や性に関するお話しをしてもらう助産師さんなどにご協力いただいています。

●活動するには？

まずは、大阪少年補導協会（下記問合せ先）にご連絡ください。そのうえで協会に直接来ていただき、活動内容の説明や登録の手続きをすることになります。登録完了後は、協会ボランティア保険に加入しますので、保険手続き完了後から活動していただけます。

また、協会では少年サポートセンターと協力して年に数回研修を実施し、サポーター同士の交流や少年との関わり方について学ぶ機会を作っています。

支援サポーターをやってみたい！！と思った人はコチラ↓

支援サポーター募集等については、一般社団法人大阪少年補導協会に委託しています。

▼問合せ

○電話番号：06-6771-0410（事務局） ○Eメール：info@osaka-hodoukyokai.or.jp

○住所：大阪市天王寺区伶人町 2 番 7 号大阪府夕陽丘庁舎 4 階

HP：[大阪 支援サポーター](http://www.osaka-hodoukyokai.or.jp/page0601.html) **検索** <http://www.osaka-hodoukyokai.or.jp/page0601.html>

≪大阪少年補導協会とは？≫

大阪少年補導協会は、在阪の主要な企業（経済界）の支援協力による全国に例をみない画期的な法人組織として、昭和 31 年（1956）年に設立され、今日まで少年の健全育成と非行防止のための事業を推進しています。